



9  
3800  
5止





門口 3800  
巻 5

大和俗訓卷之八



應接

奉りて應し合ふ事

人よ師シの心ココロはははにハハにニ礼義と正しくシとシ礼義乃

は衣服を正しくシ一敷色とそとの形をゲシ徹トふトとバ

を順ヨよクりテ威儀とそとの形をゲシ徹トふトとバ

ひくキ其ノ後ノちハらハくクはハれハかハめハげハなるハ下ノ部ノの末ノなり

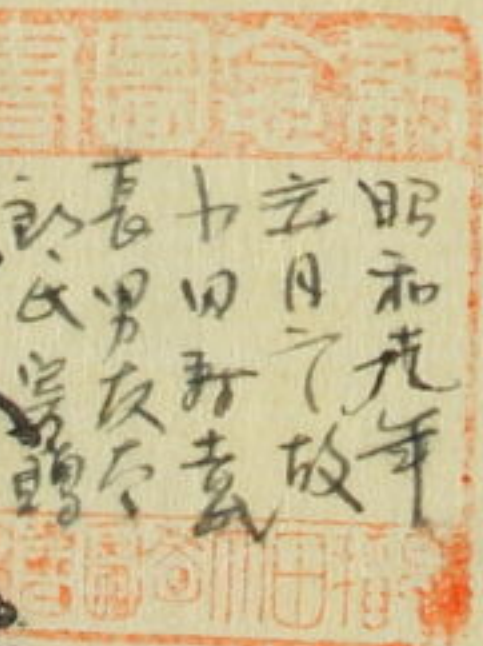
言語容貌ヨウハハ心ノ乃ハ知ルふハゆるハ符ヲ通スとバところとと

見テまシてモ心ノの善悪ハ忘れハやスとバとけシひケと

とバのうやましムとバも後よクはハれハ川ノらハ家ヲり

るハ不及かラずトスト

とバのうやましムとバも後よクはハれハ川ノらハ家ヲり



昭和九年  
五月十日  
十日  
十日  
十日  
龍子孫

大和俗訓卷之八



人よ悔むはよはまはと親疎よりけり也教をじひこと  
とて一もとい人をいひてみくゆくはざる也仁乃用  
なり教とい人とうやまひくあかきるざるなりれの  
用あり人よまらるるも教おけはば人我れ同しなり  
て人傷乃道ゆれども父母はけ久兄才ま帰し射し  
実著小吏も皆也教をいひ心法とすあやうの  
也といふて教といふるもあやと也といふの  
あも教まいざれども大なるはやうなまは同し君よの教  
をまらうと也といふるもあやと也といふるもあそれ  
らるのいひくもまらうも也せざれども忠なりあはるは  
臣なるれ道をきくべ

あてき人を也一もき人人をうやまふいふよ及だはう  
とれ人よ射しゆきん射しととも皆是天地  
乃うあ人おれとまかよまらうて也教とてあはく  
あかきるるはうとれあてきまらうも人よま  
いふるはひく也教とる原流の者げはと也教せむ  
あはるなりなり  
凡也教といふは信をなとて信といは也教といふ  
あはるるも実あて信なり也信かけはまらる  
教おわは信い人よ悔むるるなり信なりて人よ  
我といふを感通をいひふ言と貌も也教といふは  
ととも信かたれ人悔むとて信て也教乃るなり



とんねん

人は射とる小温ユヅ和ニして謙ヒコつことのまよはらうじんを  
わがうらびとばもくれく候莫よを教ありてじりひ  
よかんとも吾人といふべけは我牙うらうくじりひ  
してふしをれを温和ユヅやれとも人のあうらうと

朱子曰平心ニ和氣ニは是学問の根本なり此語よくお  
もむる一人れ美するハ心氣と申すを平和ニか  
らざれば美するのなきもびりて居理ゆれとも人お  
美らうにむ和平ニなるべし父母のつらふふハくあは  
るべしトし色と格ニめ声ニをやらうらうは是を美  
和平ニなる也をとも父母ははうふおれくよま

まのこあふとすべく人は美とくハ皆がのどく物  
を一人一言をふもそしけハきらま此をいふも  
色よわつれ目といふかきもは成るびりくとも  
これこそ乃和平ありざる也又悪れせられた也を  
とぞふらうらみされハ本心なれ末かこま  
おんども言ゆらうめくま

人は何ぞもふ怒イをひもくもくハことおして人  
及びと也云意ハうらんと人けはよくよはよを  
がうらうらうが好じらハ必人ともこのめりとも  
あうハ必人もまこくも放まをとも人れをとけ  
らうらうまもあうと人はかぞらうらうらう好じ



むの人の心とことごとく先仁を以てありたるなり又人あ  
 やまらぬがれまがくともあはれむと思ひくゆりま  
 しとてしんを以て人の心なるありてしんを以てありあり  
 とびるる心と人の我より後とありて理なきぬれ  
 と心とくくしんを以て聖人顔なり心といふにくし  
 かつことこのまゝ顔といふ思ふして道理は通せざる  
 かり顔愚は生れ付くはれどもまやうか赤子た井よ  
 かり入るごとくあつて居る理をまゝなるありてい  
 とひるるありてしんは先賢の道なり  
 かり身よ若くはありて人の心とくしんは我より後  
 をぞつて人の心とてしんは先賢の道なり

しやとて己と行て人は徳と也是れ亦怒乃道なり  
 人よまどつるふて自反とひひことと人自反といふは  
 一ふなり人をまどつて我より後とくしんは我より後  
 ねきに求る心と人よれなきは我より後とくしんは  
 とせぬ人をまどつて人よ求る心とくしんは我より後  
 求しん一つ身とくしんは我より後とくしんは我より後  
 とくしんは我より後とくしんは我より後とくしんは  
 是自反なり自反の身とくしんは我より後とくしんは  
 道あり自反の心とくしんは我より後とくしんは  
 あり  
 人よまどつるふて自反とひひことと人自反といふは

ノ中(三)











どしてつら方に死守好しありあざりたるいりさう人  
次らく人しわらうしききうし人をさるし方を失な  
ぬ一朝乃怒よも身をさしとねくも親よ及びして  
父母とらぬし不孝れああり若又乃大事に死ぬ  
べきわらう命とく体よりあたるよとらふかあつて  
とらつたりた若れるあふるのこあし武勇とをよ  
くげざはたり死ぬるまわらう死してさるわらう  
わらうわらう

脈下三寸成丹田と云人れ一才のまははひはひは丹田  
かこりく胸はわらひしうは先まとおさじふ良法  
人はまつて事に無し物さうしよまの公とあらうは

又まよ丹田かこりく物さうしよまとおさじふは氣乃  
本をまはありわらうをばらう者そる出はあうは  
て氣のあらうしひひはあつたをさうさうは  
かこりくはけけけけけけけけけけけけけけけけけ  
て必あやまり多し学若才とあさうんとあうを平に  
し氣をわらうふふふふし氣はひひはあつたは  
丹田かこりくはけけけけけけけけけけけけけけけ  
けけけけけけけけけけけけけけけけけけけけけけ  
あは氣をかこりく良法なり  
人しはあれわらうしききうし人をさるし方を失な  
ぬ一朝乃怒よも身をさしとねくも親よ及びして  
父母とらぬし不孝れああり若又乃大事に死ぬ  
べきわらう命とく体よりあたるよとらふかあつて  
とらつたりた若れるあふるのこあし武勇とをよ  
くげざはたり死ぬるまわらう死してさるわらう  
わらうわらう







仁よそ人乃公の同いかざりその面れとて世間乃人  
とよ者むつれ家ゆよ人のなとつていふらふとてあ  
ざらひ人れ公乃ありさほくたてていひ我をよふか  
ぢるそ人とさうじつにこれを偽也とていひば  
よおされてきりてよがなやとて人々さうりや  
是世よ向てくる道なり

君よいふ所くさあて人とせりてあよ君とてよ求じお人  
ハ人をせりていふ所くさあてあよ君人よりいひお人  
人とせりていふ所く我身をせじら幸くあり人をせと  
おのうとていつかとせとらふの例いふまははらう  
人とせじらをいふ所く身とせじらにせとていひていふ身と

世よるをいふ人と世とれだ仁をけく

人は変りらるい原まといひとい原といハ人とせりて  
て我をせじらとていふせとれバ我々公和樂めて人を  
うらんど人亦我をうらんどてあていひやとて  
とけいばとていふらる人れわやまらとてまじりていひ  
子才の業もうらうくといひたやとて況他人とや  
世よ思ひらる人多し世も向ていふらるる程をきよ  
じとらうとていひ我より程あり人は能者も人とあ  
らとらうとていふ人おすとのわやまらありとも人もか  
はる程といひまらる人はまはて人よりうらんとてこのし  
らとらうといひたて人よあうとていひたて人とある







申下ッはわりッ素ふらぐまきバ黒一ッの所ッは正  
 在りッ人ハ申下ッはだッろをよけしッ出ル我ッのわ  
 やまりとまッて盤わりのハなる川ら人ハ変ハバいッ  
 成まきふッつッ少ハあッぢいぢぢるあッつッ公とッろり  
 換わりのキとッで味ッた酒食成まきくのッろッん  
 痛とッろ若ッとッろッのッわ川き奈とッれんやま  
 いッめッろッろッ

おろッける人ハ情ッとしてッろッせッ義ハ情ッへッ  
 け人ハ射ッて争ッとッるッ以我ッのふるまッいッふ  
 ころ知ッれんッろッ多ッかんぞ他人ハ志ッまッろ  
 知ッろんや人乃ッ志ッこれ我ッようんぬハゆッと

色ッろッしッくハキも我ッとッろッんッろッ成ッろッて  
 改ッしッ

人ハ生れ付ハ吾同ッ以ゆッるおわりのゆッるおろッこれぬ  
 ゆッろッんハ彼ハゆッるおわりのゆッるも一人ハ我ッによ  
 まッろッかッれる人ハ一人ハ我ッゆッる成ッ用ハく  
 ゆッる成ッせしッくハ一人ハ事わッバハ用ハして  
 成ッのハかッる成ッぢいッくハ一人ハ方とッろッんハ  
 ゆッるも又多ッろッ一人ハ一人ハゆッる成ッせハハ得  
 ころおをとッてハ天下ハ用ハ使ッ人ハハある人ハ多ッ  
 使ッゆッるおをらぬハゆッる成ッゆッろッてせがれ  
 ん天下にもこれ人ハハ一人ハ使ッるふもゆッろッ







くむよわはを致乃後を初あわらうとまきやうあーが  
つ物を用りハハあたり是人よまらるれ乃ありあ人  
神よはくあはハ類藻乃とわあり是いさだトき水  
系はつて神あそあつとてつめく神よまらるあは  
後乃後あり是贊と持あつて神をうやまふたり神  
あ事へ人よまらるあわりのとらあうぞれぞも後あ  
くはとされぞもあきまハ貸財を心後ととららう  
に及ださるる物とははあつてあはハあは老らるも  
乃筋力と心後とせぶらうらうと又あはるる物を人あ  
とるハとらうらうあはらうらう物よらてそ人に志  
れ実不ああわらうらう物よと心をしつて致すん

後と初あをるト人よはうせく澄悪から物を今あ  
ふらうら

人よ射して物つて我位と年あのかはつて又射とあ  
人れ位と年あ品の品をあると其宜よりあハ後からあ  
いまは物あはる人いとうハ人をうやましむとてハ神よ  
あつてはとた大なるあやまりにわらぶとら後よりあは  
かハあれあして大あつとあつとらう一産ははくふも我  
才に道一さしれたあははくばきとあ人々又後  
あはぬ人いひの信せらるふ高産よよりとらとら  
あはらうらうらうらト産小はくハ礼よあてさ  
まら大なる信よあは



九和信言集  
我分と早下して人よきふらざるハ誠より一とれどあり  
早屈ハクやとるなりとるこはくづき度友あふふこ  
とわきくはとるゆいれ我のさけ人けりま位おれ  
辞してゆりど我があめらりなれる益とも春どし人  
れとて誠多くつりやうじりさうくつとて要後也と  
より尚ほやうべき程とあおぐりにつり辞也と  
かみ位あふ人老る人下座ありといやと日  
人乃あるべき度ありして益ともまといざるあり  
つれど早下よりあもさふ友なりと  
人のためさうつ誠するよりくまるとく一巻マク人さけ人  
かくして人れ善悪と事のはれをさうげをもとれありて

より親あの家とやめ親あわぶらばしり善悪れと  
て人をゆよつたは人乃あつとて一必後と人のとこれ  
を後とれどあまらして是と非と一悪は善と一善か  
き人をうらみ善人とまはけ悪人をらつとてハとては  
いふ善一人れはめさうとまふまふなるなり  
あわぶ千里もわらうとてあわぶれは善悪も付来せ  
ど或同じに射候してとてをさうげ或千里と  
うらむとて人をあつとて公れ合と合とらとよ  
まらと乃合の家人まはめつとてさうとてまらあ  
あわぶべき我よいさ一人一まはつとてまらん  
るゆいから世あわらる人多まればと同公の人ま















こと及びありしにふみび麻人の巻とされながらおるおしを  
 ざんじうしは偏を偏傍の私よりせらる人は射下  
 小籠とに私としてまられまは親疎功罪賢愚  
 ろくごしとよみだれがどわえふまきよのあを  
 かのとうまはどきあまなくさふ及たして他人乃  
 してありけり人こそ處とゆる不足のうらま  
 是きつうふまらる也

いふ海あり人さびこのあまらにいふ海をいふと  
 人乃りふふありおとけくよりれまらぬ  
 あるにいとらるこそじげよんをまいたれされ  
 どのま人は射さんとたふらなるらむたひす

よ面乃けいまわくこづいふ暇やうらうら

人よれは射して石魚はそらなるものとあつけえけ  
 てまかりしうらぬよそしき事わりは換送乃人なり  
 うやの處を送境とせよ海よりよみ必くおこく  
 ちり換送乃人わりわら送境よわひるら時よふ必  
 悔悲れまを引いていふらうらむらひ色よわら  
 言よあつらふらうらと是動を悲れて余質と変化  
 一ををみぐさうらまに進び時也るらうら  
 やの時のふらうらうらとぬはまらとあま  
 人乃らうらうらとあふらうらとあふらうらとあ  
 又まらうらうらとあふらうらとあふらうらとあ







川にたはるるを乃まに如くしてんや世乃人の心を  
 小くせんばよりよまきふまきぐいむと。畢竟キヤウとてより  
 とせむく人をせむく人。是世よとて道なり  
 おもて人は海にらふる人よく地つひ方とく。うたぐ我  
 知よりかつこもを眸子ホウ正しめどを術うごりか  
 ゆりらとぬくともうら以後よ不我方の害とらるこ  
 とわり悔きとも益み。是今く世はなくおかく人  
 更くく志は人のつよ處をれどぬり。るをくはみ後ま  
 て害をぬくは危きなり家ははつりよ。は結文い同き  
 知は者人。唐乃張九齡ウハクワシイり安祿山アンロクサンの叛相ハンサウわたりと  
 多かり。つひ先見のめと云る。才あづくた邪ヤなく

忠實なる人を用ゆる。眼前は快く。された後のらひ  
 かくカク且カよりあつたり。あまを益多し。小人を用ひ。小人は  
 更それ。必後の害とあり  
 さらり。此所ある人と。乃くを一事のあやまりに  
 とう。知はあむく。もらる。つひ。人。さ。一。向シク  
 小む。け。ら。る。が。一。し。一。  
 人のの。ま。む。く。ら。り。く。ま。ら。身。い。く。ま。求。め。と。こ。ら。の  
 ら。と。さ。め。た。れ。い。ら。り。う。み。あ。ゆ。く。て。ま。ら。を。和。さ。は  
 人と。争。と。よ。る。あ。げ。ま。れ。い。世。は。ま。り。一。ま。ら。知。よ。と  
 わ。く。も。ら。る。こ。多。く。果。を。ら。る。一。身。よ。く。人。に。求。る。上  
 夫。を。也。一。よ。ち。も。一。む。れ。と。ま。れ。い。人。我。お。わ。し。て



人し争ひかくせよまじりてそらあはれ失つとも  
いふまゝなれなり

我よりいふははとこど一彼よりも又あはれみくじく  
あはれとあはれしうけかまは彼我はこれ我はこれ  
りたをいふある一やまら吾不吾はるをいふは  
朋友親戚の同いそむ様とすまらあはれより久しく  
とあらとふせは只この様シヤクのうとじて疎略シヤクならむと御と  
一好むよこばもさういつらてまら罪を御とすは  
小事とすは縁のたよわくされんを術と書らるるはた也  
易君子イナクを小人アノカ不徳而蔽アノカつふ意は君子は小人は射してま  
さうんととふは教をともむはあはれとて只より身を

蔽よとせむくまのばくをさう

おとし人はまらふも人とすあはれと一そ人は善悪  
ありがてい先このんでまらふはこれなりあはれ  
只この縁をばつあはれとすはさうとさうと一そ人小  
人なりとあはれとすは後必悔ありとぞいふはさうあはれ  
小人とあはれもやんたうとすはさうとすはさうとすは  
あはれ神と小人なるもさうとすはさうとすはさうとすは  
さうとすはさうとすはさうとすはさうとすはさうとすは  
さうとすはさうとすはさうとすはさうとすはさうとすは  
あはれ害あるち候日ひさすまられ物乃害ありんとす  
禍まらに射んとすはさうとすはさうとすはさうとすは



小人と云ふはバガ方より云ふと云ふべし云々但久しおの度  
くうとくせむ

人を志するまはわくがごとく人といふ人も人を志すといふ  
とれる事なりといふも況今の人をやりしつらうと忠言  
をわくしキニカク謹厚なるやうにしてまはしし和順和順よ和順各柔ビクか  
りともまを信じて剛直なる人ハ和順ありざればも  
久しと忠実なりともが子とそものことまが家とそを乃こ  
ころ身後の事とまのしそ人はねがはざ久しと害の  
了居下朋友と云く人を負い人をそのまは知あると  
右信あり人と云くまぶるしうわりの人せよ者くし臣  
みらん臣はも深よハオカあづとも忠実なる人と臣

忠実ありとハオありと云く用ゆるハオありと云はれ  
人ハうのび害とおほかきり人

凡人倫はまをりしと云はれりるお乃人まは射し射しかくし  
ゆふと云くし後義よあてしゆしてこそがやうなるが  
とも人聖賢女あつたれが事と云ふ後義よあてりる  
次是即凡人れ者ふして古今天下の世乃なりしゆと  
と云いあてりるをわくしゆいんやうみいなるべき  
しやうの事と云く我らあてりしゆいんやうなる人  
まはなれどこと處より公のてとあんやうの事と云く道  
いらがむと云く乃まはれは終と云く及ようなるはうの事  
あわがくしと云くあはんをわくしゆいんやうなる人



事にあはれど人倫の内より位をうけ居て又と兄と  
まはるべき終りたるは云ふ及ぶべきが子弟は僕れども  
けしきりやうき者我は徳義をくたれをうけしも罪と  
いまじりたる人へは云ふべきをいひしるべきと  
是より方とあはれ人よまはるふがけうかとかと  
我は先なるはどしてよくせよをうけの及なり

大禹曰満ハ招<sup>キ</sup>換<sup>フ</sup>徳<sup>ヲ</sup>受<sup>ル</sup>益<sup>ヲ</sup>もが才徳を満りとす  
子ハ徳ありてよくしが換<sup>ハ</sup>才<sup>ハ</sup>徳<sup>ハ</sup>を満りとす  
とあり易曰天道虧<sup>カ</sup>盈<sup>ニ</sup>而益<sup>ス</sup>徳<sup>ト</sup>もが才徳を満り  
天下皆化たるの理なり人乃れをありてこのことあり  
とより方と云ふ方と云ふは是は徳ハ換とまひく

をのこるるは是は徳ハ換とまひく  
なり

人ほのより方と云ふは是は徳ハ換とまひく  
つゝあはれと終ふをありて人をもせめかよ求むるハ  
美とつゝしるにあはれ徳の内孔子の言ふ人れ已<sup>レ</sup>を  
あはれざるもと云ふは人をもあはれざるもと云ふや  
これ徳教ありては徳を大抵お供り聖人志んく  
のこまふは皆人よ美とほしむるを教えありて  
学おれつひよあはれけりあり



六角通津幸町為江入町

宝永六年<sup>巳丑</sup>林鐘穀旦

書林茨城多名集板行



大和俗訓卷之八終

益軒貝原先生編述書目

書林柳枝軒藏版

慎思錄

六冊

點例

二冊

續和漢名數

三冊

大和俗訓

八冊

家道訓

六冊

文武訓

六冊

初學訓

五冊

樂訓

三冊

日本釋名

三冊

三禮口訣

五冊

鄙事記

八冊

菜譜

三冊

京都めづり

一冊

大和めづり

一冊

諸州めづり

五冊

續伊州めづり

二冊

吾孀路記<sup>東海道</sup>

一冊

木曾路之記

一冊

有馬名所記

一冊

日光名所記

一冊

筑前名寄

二冊

吉野山圖

一冊

巖島圖

一冊

神祇訓

未刻



和學一步 未刻

扶桑紀勝 未刻

日用良方 未刻

格物餘話 未刻

小學句讀 改點 四冊

農業全書 十二冊

和爾雅 九冊

和漢事始 十三冊

諺州 九冊

孝經釋義便蒙 三冊

同附纂 二冊

享保六辛丑歲

平安六角御幸町茨城多左衛門



